

様式13

## 会派視察研修計画書

2019年5月7日

碧南市議会議長 様

会派名 日本共産党碧南市会議員団

代表者名 山口 春美 印

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	山口春美 岡本守正 磯貝明彦	
日時	2019年5月30日（木）～2019年5月31日（金）	
視察先	岡山県岡山市、瀬戸内市	
研修内容	岡山市＝賑わいをつくるコミュニティ道路（双方向）  正規職員が行う公民館行政。公民館の位置づけ、正規職員であることの違い。  瀬戸内市＝JR駅前当整備計画について	
日程	（視察先到着時間・宿泊先名及び電話も記入） <u>5月27日(月)</u> <u>三河安城発午前9：32こだま633一名古屋のぞみ15－岡山11：23着</u> 午後1：30－3：30 岡山市道路整備課コミュニティ道路 駅前ロータリーについて 宿泊 アパホテル 086-236-3111 5月28日(火) 午前10～15：00まで 岡山市の公民館行政について 岡山15：53のぞみ36-名古屋17：30着17：34発こだま672三河安城着	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（三河安城－岡山）	自家用車利用 <u>1</u> 台 所有者名（磯貝明彦）

（議会事務局記入）

旅費の額	（内 訳）
円	

様式14

## 会派視察研修報告書

2019年6月5日

碧南市議会議長 様

会派名日本共産党碧南市会議員団

代表者名 山口 春美 印

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 3名分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	山口春美 岡本守正 磯貝明彦
日時	2019年5月30日（水）～2019年5月31日（金）
視察先	岡山県岡山市
研修内容	正規職員と全館、社会教育主事を配置した公民館行政 JR瀬戸駅前整備について コミュニティ道路について
視察先面会者 又は講師名等	岡山市富山公民館主任 田中 純子 岡山市生涯学習課公民館振興室 主査 内田 光俊 岡山市都市整備局道路部道路計画課課長
備考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

## 会派視察研修成果報告書

2019年6月5日

議員氏名 山口春美 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

## 記

- 1 期 間 2019年5月30日(木)～2019年5月31日(金)
- 2 視察先 岡山県岡山市
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

**公民館行政**

岡山市は中学校区ごとに37公民館があります。全館に社会教育主事を配置し、5名ほどの市職員で運営しています。国連のESD（持続可能な地域づくり・人づくり）をめざし、2019年度公民館基本方針を作成しました。

公民館は「公民の館。年齢や性別、国籍、障がいの有無に関係なく誰もが利用できます。いろいろな人が学びあうことによって平和で民主的な社会を築いていくための教育施設です」と打ったっているように、戦後間もない1946年荒れ果てた郷土を復興し民主主義の根付いた社会をつくっていくために生み出されたものです。指定管理制度や民間委託、市長部局への移管などの昨今の動きの中国も教育文やから外そうとする動きを進めています。

碧南市は、小学校区に1公民館正規職員2名配置という優れた条件整備がされています。しかし、社会教育主事はなく、毎年、同じような企画と予算の踏襲となっています。さらにランクアップして、持続可能な社会をめざす地域や人づくりが必要なことを痛感してきました。

**コミュニティ道路とJR瀬戸駅周辺整備について**

碧南駅前広場と県道駅前線を市がもらい受けて拡幅工事が予算化されています。地域の活性化と賑わいを作り出す手法はないかと、岡山市に行ってきました。従来のコミュニティ道路は、道路面の凸凹化、歪曲などでした。岡山市では、2車線一方通行両側歩道の県庁通りを2019年度から5ヶ年かけて1車線片側通行とし、さらなる広い歩道でカフェテラスやイベントも行える「コミュニティ道路」を計画中でした。コーンを立てて1車線化する社会実験も行いました。碧南市も駅前広場と合わせて、年間通してお祭りイベントが行える場所を検討すべきです。所管課長は岩手県紫波市の駅前整備を紹介してくれました。歩道は必ずしも両側でなく片側に広いスペースを2倍確保も可能ではとの発言もありました。

今後の用地交渉で、今いる人たちが、いなくなるような計画にはしたくないものです。

駅整備では「パーク&ライト」を明確に位置づけ、碧南駅に安価な市営立体駐車場（瀬戸駅では2階建て32台）を整備し、電車利用を促進することも、位置付ける必要アリです。

## 視察研修成果報告書

令和元年 6月10日

議員氏名 岡本守正

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期間 令和元年 5月30日（木）～5月31日（金）
- 2 視察先 岡山県 岡山市 人口708,625人
- 3 視察の種類 会派視察 日本共産党碧南市会議員団
- 4 視察の成果等

#### 10日（木） 岡山市

岡山市の正規職員による「共生のまちづくりの拠点としての公民館」行政について。

岡山市には、中学校区に1公民館が有り市全体で37館です、碧南市も2名の正規職員による公民館行政がされていますが社会教育主事いません、岡山市の中学校区1公民館ですが、館長1人、社会教育主事1人、公民館主事1人、地域担当職員1人、夜間対応職員1人、運営されていた。

岡山市の公民館と碧南市の公民館運営の仕方が違うのは、国連が提唱されたESDに取り組んでいました。ESDは環境・経済社会的公正、広い意味の地域全体の文化をバランスのとれた持続可能な社会を実現するために、それぞれの価値観、生き方を学んでいく国際運動です。

岡山市富山公民館を訪問しました。ここでは、共生・地域づくり・環境・防災・男女参画健康・子育て・長寿・文化の30事業が有り、みなさんがそれぞれ活躍されていることを学んできました。

碧南市も公民館基本方針を策定し、公民館に社会教育主事を派遣し、国際基準の持続可能な社会を目指した公民館にさらに発展させることが大事です。

#### 11日（金） 岡山市

コミュニティ道路とJR瀬戸駅（岡山市）について。

JR瀬戸駅は乗降客数が日約5000人、旧瀬戸町は都市計画マスタープランや振興計画、また合併に伴う新市基本計画に、瀬戸駅周辺整備事業が盛り込まれており、瀬戸駅の利用者の利便性向上、瀬戸地域の活性化促進で駅と周辺の整備が行われた。

1、事業費の負担は割合は、JR、国、県、市、社会資本整備総合交付金事業（補助率2/5）で整備した。

瀬戸駅バリアフリー化事業しJR負担：通路、エレベーター2基、構内多目的トイレ、市負担：通路、エレベーター1基、

北口駅前広場面積約4,700㎡を整備し、路線バスバース2台+待機所1台、タクシー乗

り場2台、駐車場面積約1,330㎡駐車台数32台。

住民の要求で、南口駅を新たに設置、南口駅前広場面積約970㎡、南口連絡通路新設・バリアフリー化・エレベーター設置。

コミュニティ道路について岡山市役所で学び、現場にて見学。

2車線一方通行の車線を1車線にし、広い歩道にし、車道をジグザクにし、スピードが出ない様にしていた。さらに、ところどころに駐車スペースを設けてあった。コミュニティ道路を2本歩きましたが、最初はこの感想は、変わった、道路のようにおもえた。

県庁通りの2車線一方通行を1車線にして、現在「岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」をコミュニティ道路に変えることに住民参加で話し合いを進められていました、

碧南駅前線一方通行道路も拡幅の話が進んでいますが、住民の皆さんと、真剣に話し合い  
駐車場は、絶対必要だ、素通りだけの道にしてはいけない、立ち止まれる道にすべきだ。

## 視察研修成果報告書

令和 元年 6月 3日

議員氏名 磯貝 明彦 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期 間 令和 元年 5月30日（木）～令和 元年 5月31日（金）
- 2 視察先 岡山県岡山市
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

#### 正規職員による公民館行政について

岡山市には、中学校区に1館、市全体で37館の公民館がある。岡山市では2005年から国連で提唱された「ESD」に取り組んでいる。「ESD」とは、環境・経済・社会的公正のバランスのとれた持続可能な社会を実現するために、必要な価値観や態度、生き方を人々が学び育むことである。そのために岡山市は37館の公民館に館長（嘱託）1人、社会教育主事1人、公民館嘱託主事1人、地域担当職員（嘱託）1人、夜間対応職員（嘱託）1人を配置し、各公民館で多様な市民活動が行われている。

37館の公民館の一つ「富山公民館」を視察させてもらった。「富山公民館」では公民館事業として、主催講座・クラブ講座・室貸与・図書の貸し出しを行っている。平成30年度実績で、年間利用人数は延べ2,998回、39,371人である。市内でも10番目以内に入る利用人数だということだそう。今年度の事業計画によると、共生・防災・地域づくり・環境・健康・男女参画・子育て・長寿・ICT・文化の10分野で30の多種多様な事業計画がある。室貸与は原則有料となっているが、免除団体（無料）の利用がほとんどだそう。

岡山市は平成31年3月に「岡山市立公民館基本方針」が策定されている。テーマとして「ともに わたしたちが 未来をつくる 開かれた公民館」としている。

碧南市は、市職員を各公民館に配置してがんばってはいるとは思いますが、貸館事業を主としていることを考え直すべきではないか。そして、岡山市のように、「公民館基本方針」の策定を行うべきではないか、と痛感させられた。

#### コミュニティ道路について

岡山市では平成21年4月に政令指定都市への移行に伴い、「岡山市みちづくり計画」が策定されている。その中で、「人にやさしいみちづくり」として、コミュニティ道路の整備が位置付けられている。今までの道路は自動車交通を中心に考えられてきたため、できるだけ平坦で直線にするのが最も良い設計だとされてきた。しかし、生活地域内にも自動車が侵入するようになり、交通混雑、交通事故、騒音な

どの問題を引き起こし、地域の生活を脅かすようになった。そこで、人と車の共存を図るために考えだされたのが、コミュニティ道路。車道を蛇行させたり、ジグザグにしたり、車道面を隆起させたハンプというものを設置したりと、心理的、物理的に車の速度が低下するようにする。また、車道をジグザグにしたことでふくらみできた空間には植樹をしたり、ベンチや花壇を置いたりした空間も確保できる。

岡山市では、中心市街地の人口減少（スポンジ化）が予想されるため、「岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」にコミュニティ道路が施工済みとなっている。そして、令和元年度から、この二つのエリアを結び、また人優先の魅力を引き出すポテンシャルを持った「県庁通り」において、賑わいの創出や回遊性向上の観点から、現在2車線（一方通行）の道路を1車線化し、歩道を拡幅することで快適な歩行空間を創出していくとしている。

総事業費は11億円（L=600m、W=15m）。社会資本整備総合交付金8億2千万円を使い、市費は2億8千万円である。

「県庁通り」をコミュニティ道路化して、道路空間を単に通過するためのものではなく、賑わい創出のため、オープンカフェなどに活用ができる道路空間の創出を目指すとしている。平成29年度の経済建設委員会の行政視察で東京都新宿区に「道路を活用したオープンカフェ」でみたイメージが浮かんだ。ハード整備だけでなく、沿道事業者や地域住民と、周辺を含めた「県庁通り」のまちづくりソフト事業にも力を入れていくとしている。

碧南駅前線の拡幅整備にも「コミュニティ道路」の要素を考えていかなければ、碧南駅周辺の活性化は生み出せないのではないかと実感した。

#### 駅前広場整備事業について

JR瀬戸駅は、岡山市東部地域の交通拠点であるが、乗降客数が約5,000人の主要駅でありながら、バリアフリー化されておらず、改札口が北側のみで、アクセス道路が狭幅員であることから、利用者の利便向上を図ることが急務であったようだ。旧瀬戸町の都市計画マスタープランや振興計画、また合併に伴う新市基本計画にも瀬戸駅周辺整備事業が盛り込まれていた。

平成21年度から平成26年度までの6ヵ年をかけて、駅南口改札の新設、南北の駅前広場の整備、アクセス道路整備等を行い、瀬戸駅利用者の利便性向上、瀬戸地域の活性化促進を図ったようだ。

総事業費は約6億円。社会資本整備総合交付金事業で補助率2/5。瀬戸駅バリアフリー化事業には、JR負担：通路、エレベーター2基、構内多目的トイレ、そして、岡山市負担：通路、エレベーター1基ということであった。

碧南駅舎建替えて、名鉄が構内トイレを作らないのはJRと私鉄の違いなのか。初日の「公民館行政について」の視察に行く前に時間があつたので、瀬戸駅を私たちだけで視察しましたが、メインである北口ロータリーは、バスやタクシーの待機所、乗降所がしっかり区別されたスペースが設けられており、一般車乗降所も駐車場みたいに設けられていた。市営の立体駐車場32台分もあつた。ロータリー整備した土地はJR所有で、岡山市はJRと誓約書をかわし、整備しているとのことだった。碧南市の駅前ロータリー整備は名鉄所有の土地である。碧南市は名鉄との誓約書をかわすべきではないか。